

ソニー(株)半導体グループにおける TRIZ 推進事例 ～導入秘話、研修、実践まで～

池田 昭彦(ソニーセミコンダクタソリューションズ(株))

田中 健基、塚崎 久暢、大脇 光一(ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株))

概要

過去の TRIZ シンポジウムでソニー関係者の発表は数多く、優秀賞も何度か受賞させて頂いている。しかしその発表内容はノウハウ的なものが主で、社内での推進活動はほとんど触れてこなかった。

そこで今回の発表では、ソニー(株)半導体グループにおける TRIZ 導入から研修、その活用に至るまでの取り組みを紹介していく。具体的な内容としては下記。

- 1) ソニーセミコンダクタソリューションズ(株) (旧ソニー(株)半導体グループ) の TRIZ 導入の歴史と推進の概要
- 2) ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)での推進と活用

特に2)は企業への導入成功例として、そのいばらの導入過程の話を含めて大いに参考になるものなので、これから推進に取り組もうという方や、壁に当たって苦労している方々には是非とも参考にさせていただきたい。

そしてこの発表が、各社での TRIZ 導入と活用の参考となって日本の経済活性化に繋がり、それが今後のより良い社会を築くのに少しでも貢献する事に繋がれば幸いである。

内容説明

TRIZはその内容が豊富で様々な活用が可能で有るが故に、導入や推進の方法はその企業の文化や業種で大きく異なる。その点でビジネス展開と研究開発を担うソニーセミコンダクタソリューションズ(株)と、製造事業所であるソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)は対象業務やそれを担当している組織まで全てが大きく異なる。その点も背景として念頭に置きながら本発表をご覧いただければ参考になることも多いと考える。

以下に発表内容を説明する。

- 1) ソニー半導体グループの TRIZ 導入の歴史と推進の概要

2004年に導入してから今日までの12年間の歴史を説明する。ノウハウ導入期、自立期、応用展開期と三つのフェーズに分けて紹介。個人の個性や主張が強い企業文化の中での推進に関して、特色や難しさなどを含めて紹介する。

- 2) 製造事業所であるソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) (SCK)での推進と活用

SCKはソニー(株)半導体グループの製造事業所であり、世界トップのシェアを誇るイメージセンサを主とした半導体製造と設計を行っている会社である。本発表はこの説明を主として構成している。

2012年にSCK導入を開始して以来、僅か4年間で幾つもの表彰を受けるに至ったその流れを導入と展開、社内TRIZトレーナ養成、構築した研修の仕組み、テーマへの取り組み、導入のポイントや苦労話に至るまで紹介する。